

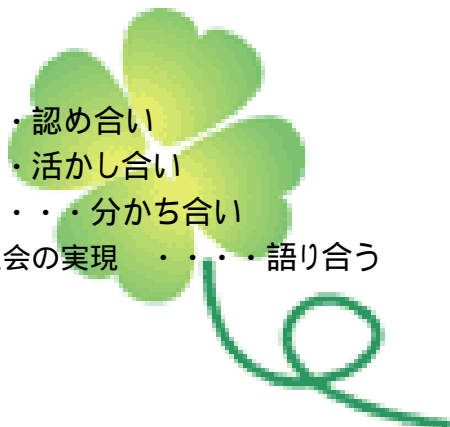
第2次長崎県男女共同参画基本計画

～ながさき“輝き”プラン～ がスタート！

県では男女共同参画社会づくりを推進するために、今後5年間（23年度～27年度）の新たな計画を策定しました。

4つの基本目標

- (1) 男女共同参画社会づくりに向けた意識の改革・・・認め合い
- (2) 女性の活躍による地域社会の活性化・・・活かし合い
- (3) 職場・家庭・地域における男女共同参画の推進・・・分かち合い
- (4) 男女の人権が尊重され、誰もが安心して暮らせる社会の実現・・・語り合う



新たな内容

4つの最重点課題

男性にとっての男女共同参画の推進

男性にとっても暮らしやすい社会を男性の視点から捉え、男性自身の性別による固定的な役割分担意識の解消や、男性を対象とした相談体制の整備など、男女共同参画の理解に向けた男性に対する積極的な働きかけを行います。

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現

仕事と家庭の両立支援、職場においての働き方の見直し、育児休業等各種制度活用、家庭生活における男女共同参画の実現など課題の解決に取り組んでいきます。

女性力を生かした地域社会・経済の活性化

これまで主に特定の分野でしか生かされてこなかった、女性の持つ力が地域で十分に発揮されるよう諸課題を解決し、女性の活動の活発化を進め、地域社会の活性化につなげます。

女性に対するあらゆる暴力の根絶

県民意識調査の結果によると、DV被害経験を持つ女性は、女性全体の18%に上り、被害にあった女性の4割がだれにも相談しなかったと回答するなど、深刻な状況です。暴力を容認しないという認識の徹底と、防止対策及び被害者支援の充実など、女性に対する暴力の根絶のための取組を総合的に推進していきます。

数値目標の設定

計画の進捗を図るための20の数値目標が設定されました。一部を紹介します。

項目	目標値	達成年度
家庭・職場・地域において男女が性別にとらわれず適切に役割分担していると思う人の割合	53.0%	27年度
県内の行政主催の男女共同参画関係イベントに参加した男性の割合	39.0%	27年度
審議会等委員への女性の登用率	35.0%	28年4月1日
農業士数	318人	27年度
家族経営協定見直し数	1,380戸	25年度

項目	目標値	達成年度
生活時間の配分について、仕事の時間・家族との時間・個人の時間のバランスを優先する人の割合	30.0%	27年度
育児休業にかかる就業規則作成・改正事業所数(累計)	1,800事業所	27年度
地域子育て支援拠点(類似施設を含む)の設置数	184か所	26年度
待機児童の解消	0人	26年度
乳ガン検診受診率	50%	24年度
母子家庭の母の就職者数	1,750人(累計)	26年度

詳細はホームページをご覧ください。 <http://www.pref.nagasaki.jp/danjo/keikaku/>

♪ 素敵なパートナー ♪

佐世保市にお住まいの吉村舞さん、ヒームストラ・クレメントさんご夫妻を紹介します。妻の舞さんはお花屋さん、夫のクレメントさんはオランダ人で、翻訳・通訳や英会話講師をされています。

第2回
吉村 舞さん
ヒームストラ・
クレメントさん
ご夫妻

結婚10年。佐世保の郊外の日本家屋にお住まいのおふたりは、この10年、どこへ行くにも、何をするのも一緒だったとか。そして、今年、子どもが生まれて、新たなパートナーシップが始まりました。「私はうさぎ、クレムはカタツムリみたいな人です」とおっしゃる舞さんのご紹介から始まりました。

Q 「カタツムリみたいな人」とは？

舞さん クレムは、決して人を急がせない、忍耐力を持ってる人です。私がツワリで苦しんでいる時は、台所に立って2、3時間かけて料理してくれました。作った料理を、私が食べられないと分かると、また何度でも作り直してくれるんです。妊娠中は、ほんとによくケアしてもらいました。

Q おふたりは、この10年を、どう感じていますか？

クレムさん 自分の人生、自分の幸せ、一緒に生きることもすべて自分の選択です。目の前にある、ひとつひとつの選択の積み重ねの先に、10年後の自分があると思う。今日、今、できることから始めれば、いつか最初にイメージした通りになると思うよ。

舞さん この10年は必要な10年でした。新たに変わった事は、子どもが生まれて「命のある生活」を日々実感していることかな。この命のために、何を食べるか、何をするかなど、毎日考えますね。

インタビューは、いつの間にか、社会情勢や日本人についての「ディスカッション」みたいになってしまいました。

おふたりは、毎日いろんな事で、お互い、よく話をするとおっしゃっていましたが、おふたりの行き届いたコミュニケーションを感じました。

Q お子さんの教育という、夫婦の新たな課題ができましたね？

クレムさん 子どもの教育で大事なものは、夫婦ふたりの都合ではなく、彼(子ども)にとって、何が一番いいのかを考えることだと思います。

舞さん これまで、クレムとは毎日毎日、いろんな話をしてきましたけど、これまでとは違ったコミュニケーションが始まりました。育児や仕事をしていく上で、男女どちらかに負担がかたよったり、犠牲が発生してはいけないと話したりしています。以前から思っていたんですが、日本の男の人は、子どもの成長が見られなくて残念だろうなあと思います。家族からの孤立とか分断は、その辺りから来ているんじゃないかなあ？



僕の名前は、ヒームストラ・ヨハンです。

センター 掲示板

男女共同参画週間イベント 報告

平成 23 年 6 月 6 日(月)、男女共同参画週間イベントを開催しました。今年のイベントは、「笑いヨガ」で心も体も元気にし、四つ葉のクローバーと題したワークショップでは、4人の素敵な方々に現在の取組や思いを発表していただきました。



笑いヨガインストラクター
岩本千恵子さん



畜産経営者
福田郁代さん



こどもの城館長
池田 尚さん



国際結婚
クレメントさん



日本茶インストラクター
嶋田祐子さん



意見交換会の様子

詳細は当センターのHPをご覧ください。

● 雲仙市の「幸せ広がる～はぴねす！メッセージ」が決まりました。

雲仙市男女共同参画センターでは、啓発事業の一環として家族や身近な人に送るメッセージを募集し、下記のメッセージが最優秀賞に選ばれました。

最優秀賞(雲仙市長賞) 藤下明日香さん(愛野町)
「父へ

昔はお父さんの手が油で汚れて真っ黒なことが嫌だった。社会人となった今ではお父さんの手を誇りに思います。家族の為に一生懸命働いてくれて有難う。」

編集後記

今回は「トイレに注目」のような内容になりました。でも偶然なのです。ならばそれなりに注目してみてください。結構話題としては盛り上がりそうです。必要欠くべからざる場所だからでしょうか。トイレからも男女共同参画の課題は発信できるのですよ。男女共同参画という事をもっと身近に感じていただきたいと思います。

編集委員(井上・大浦・合田・坂本・西・野々村・若林)

地域力活性化事業の動きを報告します！

◆ 長崎・西海・西彼地域(長崎市・西海市・長与町・時津町)

中小事業者と従業者へのワーク・ライフ・バランスの実態調査と周知活動の推進をテーマに、着々と事業が進み始めた長崎・西海・西彼地域。グループ名を「儲かる家族経営をしてみよう会」として、地元の商工会青年部と連携し、新聞の発行、事業主へのアンケート調査及び意見交換会など進められています。



◆ 島原三市地域(島原市・雲仙市・南島原市)

「子どもでつなぐ地域の和(ハーモニー)づくり～世代間の壁を越えて～」を三市の共通テーマとして、子育て世代を支援する事業をそれぞれの市で協議していきます。7月26日、長崎シビックホールを訪ね、NPO法人インフィニティーの野口美砂子さんから活動状況と子育て支援活動について学習しました。



平成23年度「女性力でながさを活性化！会議」が開催されました！

頑張る女性10人のメンバーで平成22年度に発足した会議はこれまで10回以上開催され、女性が社会で就業や起業等の活動するための仕組みづくり、女性の視点を生かした県事業の展開、女性の視点を生かした地域活性化のアイデアに絞り具体的な提言をまとめようとしています。



長崎県男女共同参画審議会が開催

平成23年7月26日(火)に今年度第1回長崎県男女共同参画審議会を開催されました。今年度からの新たな基本計画の最重点課題への取り組みについて審議が進められ、多くの意見が寄せられました。